

想定し得る最大規模の降雨により想定される浸水区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。

内水氾濫避難地図

▶下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定



【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】

1m以上 3m未満	1階部分が浸水。床上が浸水。
0.5m以上 1m未満	
0.5m未満	大人のひざまでつかる。床下まで浸水。

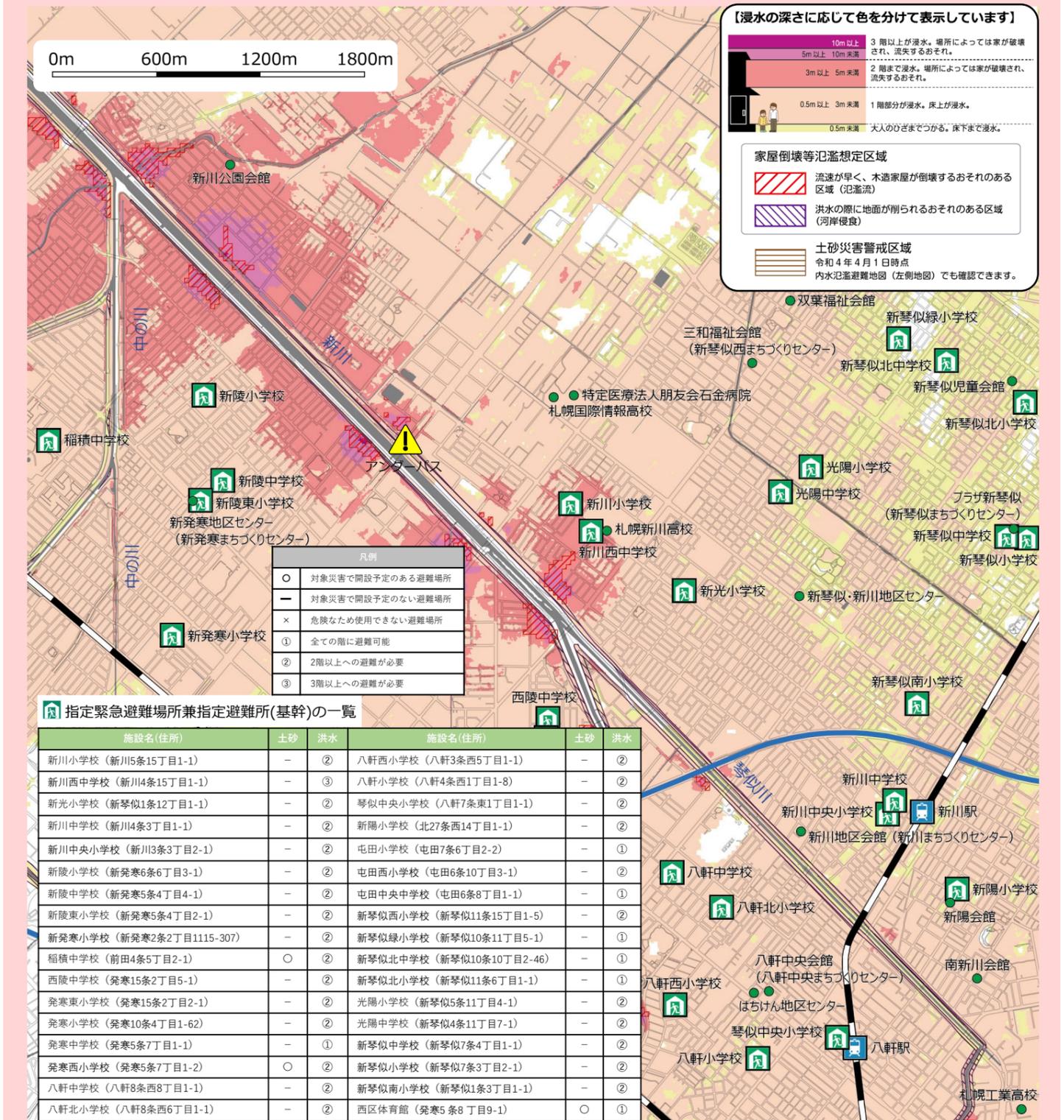
過去の浸水箇所
この区域内では過去に浸水が発生していますので、着色されていない場所であっても浸水の発生に十分注意してください。

内水氾濫の浸水想定の対象外区域
(下水道で雨を排水していない区域または市外)

土砂災害警戒区域
令和4年4月1日時点
洪水避難地図(右側地図)でも確認できます。

洪水避難地図

▶川が氾濫することで発生する浸水を想定



【浸水の深さに応じて色を分けて表示しています】

10m以上	3階以上が浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
5m以上 10m未満	2階まで浸水。場所によっては家が破壊され、流失するおそれ。
3m以上 5m未満	1階部分が浸水。床上が浸水。
0.5m以上 3m未満	大人のひざまでつかる。床下まで浸水。
0.5m未満	

家屋倒壊等氾濫想定区域
流速が早く、木造家屋が倒壊のおそれのある区域(氾濫流)

洪水の際に地面が削られるおそれのある区域(河岸侵食)

土砂災害警戒区域
令和4年4月1日時点
内水氾濫避難地図(左側地図)でも確認できます。

凡例

○	対象災害で開設予定のある避難場所
—	対象災害で開設予定のない避難場所
×	危険なため使用できない避難場所
①	全ての階に避難可能
②	2階以上への避難が必要
③	3階以上への避難が必要

指定緊急避難場所兼指定避難所(基幹)の一覧

施設名(住所)	土砂	洪水	施設名(住所)	土砂	洪水
新川小学校(新川5条15丁目1-1)	-	②	八軒西小学校(八軒3条西5丁目1-1)	-	②
新川西中学校(新川4条15丁目1-1)	-	③	八軒小学校(八軒4条西1丁目1-8)	-	②
新光小学校(新琴似1条12丁目1-1)	-	②	琴似中央小学校(八軒7条東1丁目1-1)	-	②
新川中学校(新川4条3丁目1-1)	-	②	新陽小学校(北27条西14丁目1-1)	-	②
新川中央小学校(新川3条3丁目2-1)	-	②	屯田小学校(屯田7条6丁目2-2)	-	①
新陽小学校(新陽寒6条6丁目3-1)	-	②	屯田西小学校(屯田6条10丁目3-1)	-	②
新陽中学校(新陽寒5条4丁目4-1)	-	②	屯田中央小学校(屯田6条8丁目1-1)	-	①
新陽東小学校(新陽寒4条4丁目2-1)	-	②	新琴似西小学校(新琴似11条15丁目1-5)	-	②
新陽西小学校(新陽寒2条2丁目1115-307)	-	②	新琴似緑小学校(新琴似10条11丁目5-1)	-	①
稲積中学校(前田4条5丁目2-1)	○	②	新琴似北中学校(新琴似10条10丁目2-46)	-	①
西陵中学校(発寒15条2丁目5-1)	-	②	新琴似北小学校(新琴似11条6丁目1-1)	-	①
発寒東小学校(発寒15条2丁目2-1)	-	②	光陽小学校(新琴似5条11丁目4-1)	-	②
発寒小学校(発寒10条4丁目1-62)	-	②	光陽中学校(新琴似4条11丁目7-1)	-	②
発寒中学校(発寒5条7丁目1-1)	-	①	新琴似中学校(新琴似7条4丁目1-1)	-	②
発寒西小学校(発寒5条7丁目1-2)	○	②	新琴似小学校(新琴似7条3丁目2-1)	-	②
八軒中学校(八軒8条西8丁目1-1)	-	②	新琴似南小学校(新琴似1条3丁目1-1)	-	②
八軒北小学校(八軒8条西6丁目1-1)	-	②	西区体育館(発寒5条8丁目9-1)	○	①

避難場所の凡例

指定緊急避難場所兼指定避難所(基幹)	指定避難所(地域)
<ul style="list-style-type: none"> 災害から身を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定しています。 災害の危険性がなくなるまで一定期間滞在などとする指定避難所(基幹)を兼ねています。 は洪水・土砂災害時に使用できません。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所(基幹)を補完する施設であり、状況に応じて開設されます。

※令和4年9月1日時点の避難場所の情報を掲載しています。最新の情報はこちら。

避難地図の使い方

- 自宅などの位置を確認し、○をつけましょう。
 - 最寄りの指定緊急避難場所を確認し、○をつけましょう。
 - 避難経路をいくつか設定しましょう。
- 避難経路設定のポイント
- できるだけ川や崖の近くは避難経路にしないようにしましょう。
 - 川から離れていても内水氾濫により、浸水する可能性があります。内水氾濫避難地図(左側地図)も見て、できるだけ浸水が想定されない経路を設定しましょう。

自宅などの内水氾濫・洪水・土砂災害の危険度を把握し、避難の方法を確認しましょう。

- 内水氾濫避難地図(左側地図)で内水氾濫の危険度を把握しましょう。
 - A | 浸水の深さより居室が高い。 → はい いいえ
- 洪水避難地図(右側地図)で洪水の危険度を把握しましょう。
 - B | 浸水の深さより居室が高い。 → はい いいえ
 - C | 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流 河岸侵食)に入っていない。 → はい いいえ
- 避難地図(両側地図)で土砂災害の危険度を把握しましょう。
 - D | 土砂災害警戒区域()に入っていない。 → はい いいえ

避難の方法を確認しましょう。

- 避難の方法を確認しましょう。
 - A~Dがすべて「はい」水が引くまでとどまることができ、備えが十分であれば在宅避難が可能です。
 - ひとつでも「いいえ」がある自宅などにとどまると危険です。避難情報が出た場合や周辺が浸水するなどして身の危険を感じた場合は、速やかに指定緊急避難場所や親戚・知人宅などの安全な場所へ避難しましょう。